

令和5年度事業計画

I ツーリズムの創造・発展	
(1) ツーリズム企画推進事業	
① 戦略的なツーリズム企画の推進 (担当：経営) (担当：観企)	○会員相互の連携により事業企画・推進を図るとともに、県や市町村等への事業企画等の提案を行う。 ○今回策定した当法人における中期経営計画（2022年～2024年）の実現を目指し、着実に事業を遂行する。
② 各種協議会 (担当：観企) (担当：誘致) (担当：MICE センター)	○ツーリズムおおいたが事務局として協議会の運営にあたり、総会等の開催及び各協議会における事業企画の提案、推進を図る。 ・大分県ふるさとガイド連絡協議会 ・大分県教育旅行誘致協議会 ・大分県MICE誘致推進協議会 ・大分県アウトドアガイド認証制度運営協議会
(2) 地域連携事業	
① 観光圏等地域連携観光組織との連携 (担当：観企)	○県内各地域の観光協会等が造成した旅行商品を当社のWEB販売システム「テッパン！おおいた」で販売するなど、双方にメリットが生じる連携を推進する。 ○地域連携型の観光組織等と連携して、広域観光の推進を図る。
② 県内DMO候補法人・地域観光協会との連携 (担当：経営) (担当：観企)	○県内のDMO組織、地域観光協会との連携を強化するとともに、相互が役割分担・連携して共同事業等に取り組むことで効果の最大化を図る。 ・地域観光協会との定例的な情報交換会などを開催し、お互いの取組を理解するとともに、広域的な地域間連携の取組がこれまで以上に進むよう支援する。 ○県域DMOとしての体制強化を図るとともに、各地域に必要なサポートやデータに基づいたマネジメントの推進など地域との協働推進に取り組む。

II 地域マネジメントの推進

大分県観光のプラットフォームとして県域版 DMO の機能を効果的に発現するため、効果的な商品企画や販売、マーケティング機能の充実を図るとともに、市町村、域内 DMO 組織や観光協会、関係団体等との連携を強化し、県内観光の発展をサポートする。

(1) ツーリズム推進基盤強化事業

(57,183千円)

① 商品企画・販売機能の強化

(担当：経営)
(担当：観企)
(担当：誘致)

- WEB販売システム「テッパン！おおいた」を最大限に活用し、ニーズとマッチした着地型旅行商品の販売を行うとともに、旅行商品の販路拡大を目的に首都圏、関西圏、中京圏などの3大都市圏への営業活動を行う。また、海外マーケットにおいても、商談会や旅行博等で旅行会社や一般旅行者へ向けた告知を行う。
- 県内外観光関係者等と連携して、県内及び隣県の主要観光地等を結ぶ周遊商品の企画・造成や地域の支援を行うことで、観光資源の見える化を図る。
- 各種マーケティング情報を的確に捉え、データに基づいたより効果的な商品販売方法等を検討することで販売強化に繋げる。
- 大分県立美術館を中核とした観光循環促進事業（文化庁補助事業）を行う。事業主体：大分県芸術文化スポーツ振興課
- 昨年度実施したサステイナブルとおおいたの食をテーマに加え、新たな高付加価値商品の開発を行う。

② マーケティング機能の強化

(担当：経営)
(担当：観企)
(担当：誘致)

- 「観光マーケティング会議」等を継続開催し、市町村や地域観光協会、旅館組合や商工関係団体等との連携を推進する。同時に、より必要とされる情報の提供や共同事業の実施に向けた合意形成に取り組む。
- 客観的な観光関連データの集約・分析、誘客に結びつく戦略立案に必要なマーケティングを行うため、各種オープンデータの解析、WEB調査や観光客の動態調査等を実施する。
- 今後の事業として検討するため、全市町村を対象に、イベントの来訪者の属性などの分析情報等を、試行として無償で提案し意見等を収集する。
- 広域での共同事業の必要性やマーケティング情報の有効な活用策等の意識醸成を図るとともに、各地域のPDCAサイクル構築のサポートを行う。

(2) おもてなし人材育成事業

(1,406千円)

① 魅力ある地域・商品づくりの推進

(担当：観企)

- ナショナルパーク（国立公園満喫プロジェクト）や日本ジオパーク等の自然環境を活用した大分県らしい新たな商品づくり、個人旅行者や訪日外国人観光客の増加に対応できる観光素材の整備を促進し、魅力ある観光地域づくりに取り組む。

② おもてなし体制の強化

(担当：観企)

- 県観光政策課と連携し、県内観光案内所の連携・情報交換を目的とした研修会等に参加する。

③ ガイド等ツーリズム人材の育成

(担当：経営)
(担当：観企)

- 大分県ふるさとガイド連絡協議会の交流研修会を開催し、デスクティネーションキャンペーンに向けてガイドの資質向上を図るとともに、ガイド同士の情報やノウハウの交換を促進する。

(3) 情報収集・発信事業

(14,207千円)

① HP・情報発信誌
等発行

(担当：観企)

- 「おんせん県おおいた観光情報公式サイト」（ツーリズムおおいたホームページ）における日本語サイトの更新充実を図り、旬な情報、季節を先取りしたタイムリーかつ効果的な情報発信を行う。
- 観光情報誌「Gururitto～ぐるり～」を季刊発行し、県内及び九州内や中国地方などの高速道路サービスエリアや道の駅、公共交通機関のターミナルなどに配布する。各刊それぞれ数百件のアンケートが寄せられるため、必要な内容については、市町村などに情報提供するとともに、今後の誘客の取組に向けて改善を図っていく。
- 旅行会社やメディアに対して、商品の造成や販売に向けた観光素材、施設情報をメルマガ方式で配信し、旅行商品造成や誘客促進を図る。
また、メール配信システムを利用し、開封率だけでなく、リンククリック数等フロー解析を行う。
- 大分空港の水平型宇宙港としての供用開始にむけ、その進捗状況に応じて観光面での情報発信を行う。

② デジタル技術等を
活用した将来のリ
ピーター確保対策

(担当：観企)

- SNSを活用し、顧客ニーズに沿った情報発信の強化に取り組む。
- 「テッパン！おおいた」において、商品販路拡大や周遊観光につながるような商品の情報発信をデジタルマーケティング手法を用いて効果的に行い、リピーター確保を図る。
- 各種事業におけるランディングページを作成し、効果測定を行う。（新設）

Ⅲ 国内観光客の誘致促進

大分県の進めるデジタルマーケティングを活用した誘客対策を推進するとともにオンライン・オフラインを活用した商談会や展示会への出展、また、MICEや教育旅行などの団体誘致に向けて 旅行会社や交通事業者等と連携し、ターゲット毎に効果的な誘客促進策を実施する。

(1) デジタルマーケティングを活用した誘客対策 (25,890千円)

(担当：観企)
(担当：誘致)

○無関心・潜在層及び顕在・顧客層に向けたターゲティング広告
前年度のデジタルマーケティング事業で得たデータ分析結果を
基にペルソナを再設定し、SNS等を活用したターゲティング
広告を実施する。

(2) 主要圏域別の誘客対策 (6,354千円)

(担当：誘致)

○民間事業者や県外事務所等と連携した共同セールスやキャラバン、メディアを活用したパブリシティによる露出拡大を行うなど、効果的なプロモーションを実施する。

○九州・中国四国対策
・マツダスタジアムでの広島カープの試合を活用した誘客プロモーションを実施する。

○関西対策
・大阪事務所と連携した関西の旅行会社を対象とした商談会の開催や大型商業施設を活用したイベント出展を実施する。

○関東対策
・毎年数万人が訪れる東京タワーで実施の地獄蒸し祭りに出展プロモーションを実施する。

(3) 商談会等による誘客促進 (6,458千円)

(担当：誘致)

○県内外の旅行会社を招聘し、大分県独自のツーリズム商談会を開催する。(JRデスティネーションキャンペーンを見据え9月28日(金)～29日(土)開催予定)

○県外事務所や市町村、関係団体等と連携し、大型イベントへの出展、旅行業界向け商談会の開催などを通じて、大分県観光素材の訴求、販路拡大を図る。

○ツーリズムEXPOジャパン2023出展予定
(10月26日(木)～29日(日)@インテックス大阪)

(4) 団体誘客対策事業 (4,877千円)

① MICE誘致の
推進

(担当：誘致)

○大分県MICE誘致推進協議会及び九州・沖縄地区コンベンション推進団体連絡会の構成団体と連携し、MICEの誘致に取り組む。大学等の学会案件保持者に対する誘致活動や団体・企業等のMICE情報の収集に努める。

(担当：MICE センター)	○コロナ後のインバウンド誘致事業と連携して、海外からのインセンティブツアーの誘致を強化する。
②教育旅行誘致の推進 (担当：誘致)	○中学校は、九州、中国、大阪、兵庫といった関西のエリア、高等学校は、関東の地域をターゲットに、学校関係者の招請や教育旅行を取り扱うエージェント担当者へのセールス、また大分への招聘事業等を行い、新たな地域からの誘致を推進する。 ○教育旅行誘致協議会と連携して、スポーツやサークル等の合宿の誘致活動に取り組む。 ○教育旅行と親和性の高い学習素材を活用して、誘致活動を進める。
(5) 空港利用促進（期成会）事業 (9,090 千円)	
航空事業者との連携促進 (担当：誘致)	○大分空港就航の航空会社と連携し、各社の持つ特性を活かした効果的な情報発信を実施する。
(6) メディア対策事業 (10,000 千円)	
(担当：誘致)	○広報広聴課及び各県外事務所と連携した情報発信支援、取材支援により、県外メディアでの大分県観光情報の露出と認知度の向上を図る。

IV 広域観光連携の推進	
(1) 東九州軸・九州横断軸連携事業 (4,500 千円)	
① 東九州軸連携誘客 (担当：誘致)	○宮崎県との連携事業及びNEXCO西日本等と連携した誘客キャンペーンやメディアを活用したプロモーションの展開、旅行商品の造成により大分県への誘客を促進する。 ・NEXCO西日本との連携事業 お国じまんカードラリー2023、ドライブパス2023を実施する。
② 九州横断軸連携誘客 (担当：誘致)	○九州横断3県（大分・熊本・長崎）との連携事業。コロナ禍で減少した観光需要を回復させるため、3県連動し周遊ルート商品の販売促進を図ることにより、かつて九州観光のゴールデンルートと称された九州横断軸観光の再興を図る。 ・旅行会社による3県周遊ルート商品造成、販売、PRを実施する。
(2) 広域観光推進組織連携事業 (3,765 千円)	
(担当：誘致)	○九州観光推進機構と連携した、全国主要都市（東京、大阪、福岡等）での商談会開催や誘客プロモーションを実施予定

V インバウンド誘致対策事業

段階的な渡航制限解除により、外国人観光客数も徐々に戻りつつあるが、いまだに大半の国ではコロナウィルス流行前の水準には戻っていない。

昨年度から取り組んでいる戦力パートナーと連携した中長期的・専門的な視点での戦略構築とその戦略に基づいた情報発信やツアー・旅行商品の造成等をさらに推し進める。

(1) 各国（地域）別対策 (86,866 千円)

<p>① 韓国対策 (担当：誘致)</p>	<p>○戦略パートナーと連携し、中長期的な戦略の構築を行うとともに、現地情報収集やセールス活動、戦略に基づいた各種事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地旅行会社・ランド社へのセールス ・現地大手旅行会社、ランド社向けFAMトリップ実施 ・SNSを利用し、個人旅行者への定期的な情報発信 ・大分県単独商談会を開催（8月末予定）
<p>② 台湾対策 (担当：誘致)</p>	<p>○戦略パートナーと連携し、中長期的な戦略の構築を行うとともに、現地情報収集やセールス活動、戦略に基づいた各種事業を実施し、商品造成・誘客に繋げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地旅行博などへの出展 ・現地大手旅行会社向けFAMトリップ実施 ・大分県単独商談会を開催（11月末予定）
<p>③ 香港対策 (担当：誘致)</p>	<p>○戦略パートナーと連携し、中長期的な戦略の構築を行うとともに、現地情報収集やセールス活動、戦略に基づいた各種事業を実施し、商品造成・誘客に繋げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地旅行博などへの出展 ・現地大手旅行会社向けFAMトリップ実施 ・SNSを利用し、個人旅行者への定期的な情報発信 等
<p>④ 中国対策 (担当：誘致)</p>	<p>○戦略パートナーと連携し、中長期的な戦略の構築を行うとともに、現地情報収集やセールス活動、戦略に基づいた各種事業を実施し、商品造成・誘客に繋げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地旅行博などへの出展 ・現地旅行会社との商談会実施 ・現地大手旅行会社向けFAMトリップ実施 ・SNSを利用し、個人旅行者への定期的な情報発信 等
<p>⑤ タイ対策 (担当：誘致)</p>	<p>○戦略パートナーと連携し、中長期的な戦略の構築を行うとともに、現地情報収集やセールス活動、戦略に基づいた各種事業を実施し、商品造成・誘客に繋げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地旅行博などへの出展 ・現地旅行会社との商談会実施 ・SNSを利用し、個人旅行者への定期的な情報発信 等

<p>⑥ シンガポール・マレーシア対策 (担当：誘致)</p>	<p>○戦略パートナーと連携し、中長期的な戦略の構築を行うとともに、現地情報収集やセールス活動、戦略に基づいた各種事業を実施し、商品造成・誘客に繋げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地旅行博などへの出展 ・SNSを利用し、個人旅行者への定期的な情報発信 等
<p>(2) デジタルマーケティング事業 (92,414 千円)</p>	
<p>(担当：観企)</p>	<p>○ホームページ管理運営</p> <p>○フェイスブック、インスタグラム、WEIBO・WECHAT を活用した情報発信を行う。</p> <p>○APU の留学生に県内の観光素材を取材してもらい、外国人の誘客につながる動画を制作し、YouTube にアップする。</p> <p>○県内各地の四季折々の写真素材を収集し、マーケティング用に活用したり、海外の旅行会社へ素材を提供する。</p>
<p>(3) 広域連携・情報発信事業 (8,179 千円)</p>	
<p>(担当：誘致)</p>	<p>○外国人観光客の旅程は、複数県を跨ぐものが一般的であり複数県による連携事業が効果的であることから、国の広域連携事業(VJ事業)を活用した各広域観光ルートの形成、九州各県と連携した招請事業、海外メディア招請を通じた情報発信等に取り組む。</p>

<p>VI ツーリズム推進態勢の強化</p>	
<p>(1) 財政基盤の強化</p>	
<p>(担当：経営) (担当：観企)</p>	<p>○事業実施のための財源を確保するため、プロモーションとあわせてグッズ販売を実施する。</p> <p>○テッパンおおいたによる着地型旅行商品の造成・販売の強化、販売におけるリスクマネジメントや業務の効率性向上、WEB販売システムの充実など、事業効果検証を行いながら環境整備に取り組む。</p> <p>○広告媒体の提供、セミナーや企画事業への参加の一部有償化など、新たな収入増加を図るための手法を検討する。</p> <p>○決算剰余金を特定費用準備資金として積み立て、財政基盤の強化を図り、自主事業実施やプロパー職員増員の実現を図る。</p>
<p>(2) 会員との連携強化</p>	
<p>(担当：経営)</p>	<p>○「ツーリズムおおいたNEWS」を発行し、各事業の予定や実施状況、観光動向など迅速かつきめ細かな情報提供を行う。</p> <p>○定期的な会員訪問等により会員ニーズを把握するとともに、参加したいと思うセミナー等の開催や会員専用サイトを通じた有益な情報の提供等を行い、会員メリットの創出に努める。</p> <p>○会員専用ページがより有効に活用されるよう、周知徹底を図る。</p>

(3) 組織の機能強化と連携推進	
(担当：経営) (担当：観企) (担当：誘致)	<p>○観光立国の実現に向けて、国による投資も選択と集中型に移行する中、大分県観光の競争力を強化するため、組織の機能強化を継続的に推進する。</p> <p>○多様な業種との連携を強化し効果的・効率的に事業を進める。</p> <p>○行政機関や民間組織と連携し、コロナ後の旅行者ニーズに即した観光地域づくりに取り組む。</p>

VII 観光地の災害情報等の発信と感染症対策	
(1) 感染症対策	
(担当：経営) (担当：観企) (担当：誘致)	<p>○「おんせん県おおいた宿泊施設感染症対策チェックリスト」や「宿泊施設における新型コロナウイルス対応マニュアル」等に基づき、引き続き感染症対策を実践する。そのほかの観光施設等もこれに準じた感染症防止策を講じる。</p>
(2) 情報発信・情報提供	
(担当：経営) (担当：観企) (担当：誘致)	<p>○旅行者向けの、感染症や災害等に関する情報、復旧の状況等を正確かつ迅速に発信し、旅行者や事業者に適切な行動を促すとともに風評対策の徹底を図る。外国人等の情報弱者に向けても、県など自治体が発信する情報を活用し迅速に情報提供を行う。</p>

VIII 法人の運営	
(1) 総会の開催	
(担当：経営)	<p>○会員総意に基づき、ツーリズムおおいたの事業を推進するため、通常総会を年1回、6月末に開催する。通常総会においては、事業報告や決算案を諮るとともに、新年度の事業計画案、収支予算案について報告を行う。また、本県のツーリズム振興に特に功績のあった団体・個人の功績を称え、表彰を行う。</p>
(2) 理事会の開催	
(担当：経営)	<p>○ツーリズムおおいたの事業を推進するための業務執行の決定、事業計画書や収支予算書の承認、理事の職務の執行の監督などを行う。</p> <p>・理事会（6月、10月、3月）3回開催</p>
(3) 運営会議及び事業企画委員会等の開催	
(担当：経営) (担当：観企)	<p>○運営会議において、理事会に諮る議案の決定や懸案事項の方針等を検討する。</p> <p>○事業企画委員会等において、テーマ別意見交換や、現場の実態を共有し、県施策やTO事業にも反映できるような議論の機会を設ける。</p>